

平成23年度第1回産業衛生技術部会幹事会
および平成23年度産業衛生技術部会総会 議事録

幹事会

日時：平成23年5月19日(木) 12:00～13:00

場所：シーサイドホテル芝弥生 11階「さくら」(第84回日本産業衛生学会(東京)第7会場)

総会

日時：平成23年5月20日(金) 17:00～18:00

場所：ホテルアジュール竹芝 16階「曙」(第84回日本産業衛生学会(東京)第2会場)

産業衛生技術部会奨励賞（中明賞）（授賞式：総会冒頭）

今井 常彦（いまいつねひこ）

東邦大学医学部衛生学教室 講師

研究テーマ

カドミウムと加齢の関係について

エタノールの母獣および仔獣への影響

エタノールの骨への影響 ほか

城 憲秀（たち のりひで）

中部大学生命健康科学部保健看護学科教授

研究テーマ

タバコによるラット生殖機能影響

SHRSPに対する寒冷暴露が循環機能に及ぼす影響

産業疲労「自覚症状しらべ」の改訂 ほか

1. 平成22年度事業報告

以下の通り、承認された。

1. 総会の開催

平成22年5月28日（金）17:00～17:30 福井県国際交流会館 2F 第1会議室

2. 幹事会の開催

第1回：平成22年5月26日（水）17:00-18:00 福井県国際交流会館 2F 第1会議室

第2回：平成23年1月22日（土）11:45-12:45 早稲田大学西早稲田キャンパス 52号館103号室

3. 産業衛生技術フォーラムの開催

平成22年5月28日（金）14:30-17:00 福井県国際交流会館 2F 第1会議室

テーマ：化学的環境ーリスク管理とリスク軽減ー

座長：中明賢二（麻布大）

1. ホルムアルデヒドを含む化学物質のリスク管理 河合俊夫（中災防・大阪センター）

2. 化学物質と神経障害 松岡雅人（東京女子医大・衛生学公衆衛生学）

3. 化学的環境のリスク軽減 谷井秀治（金沢大）

4. 第19回産業衛生技術部会大会の開催

平成23年1月22日（土）13:00 - 16:00 早稲田大西早稲田キャンパス 57号館201号室

テーマ：産業衛生分野における現在の人間工学の役割

1. 労働衛生における人間工学的課題 城内 博（日大）

2. 椅子作りと人間工学 八木 佳子（(株)イトーキ）

3. 高年齢労働者の転倒災害と防止対策 大西 明宏 (安衛研)
4. safety management におけるヒューマンファクター 小松原 明哲 (早大)
5. 産業衛生技術専門研修会の開催
 - ・ 第10回産業衛生技術専門研修会
平成22年5月27日 (木) 15:30-17:00 福井県国際交流会館 2F 第3会議室
テーマ：職場における化学物質管理の今後の動向について
講師：名古屋俊士 (早大)
 - ・ 第11回産業衛生技術専門研修会
平成23年1月22日 (土) 10:00-11:30 早稲田大学西早稲田キャンパス57号館201号室
司会：今井常彦 (東邦大)
テーマ・講師：人間工学・大橋信夫 (労研)
6. 労働衛生工学基礎講座の開催
平成22年3月1日 (月) 13:00-16:30 東京トラック事業健保会館 (東京都千代田区四番町5-7)
テーマ：作業環境測定に使用できる電氣的センサーの現状と展望
7. 各委員会の活動
 - (1) 企画委員会 (委員長：村田克・労研)
平成22年4月、7月、10月、平成23年3月に委員会 (計4回) を開催
 - (2) 教育研修委員会 (委員長：今井常彦・東邦大)
産業衛生技術専門研修会 (第10回、第11回) を企画・開催
 - (3) 広報委員会 (委員長：落合孝則・東工大)
部会ホームページ及びメンバーリングリストの管理
 - (4) 企業安全衛生グループとの交流委員会 (委員長代理：田中茂・十文字女子学園大)
講師派遣：
平成22年11月30日、奈良県労働基準局内 (依頼者：奈良県労働基準協会)
講師：河合俊夫、対象者：奈良県企業の衛生管理者約50名
講演内容：衛生管理者がおこなう化学物質のリスクアセスメント
 - 1) リスクアセスメントという言葉は法規のどこに示されているか。
 - 2) 法規で示されているリスクアセスメントの3種類の例
 - 3) リスクアセスメントの実施はいつ行なうのか？
本来は人への影響の予測であるので作業前に行なうべきである (法規も示されている)。
これらの予測として、ILOのコントロールバンデングの実習。

その他、全国衛生管理者協議会等で講師派遣を広報

- (5) 表彰委員会 (委員長：名古屋俊士・早大)
今年度の産業衛生技術部会奨励賞候補2名 (城 憲秀氏・中部大、今井常彦氏・東邦大) の選定
- (6) 4部会コラボレーティング委員会 (委員長：落合孝則・東工大)
他部会と共同で4部会合同セミナー (平成22年10月13日～14日・レンゴー株式会社恵庭工場、札幌ガーデンパレス、北海道立道民活動センター)、およびリレーワークショップ (平成22年10月15日・北海道立道民活動センター) を開催した。
8. 各地方会の活動
 - (1) 北海道地方会 (担当幹事：武田秀勝・札幌医科大)
 - ・ 平成22年3月6日 午後1時～
北海道地方会 第13回 産業医・産業看護・産業技術3部会合同研修会
 - ・ 平成22年6月8日 午後6時～ 札幌医科大学 403教室
演題「作業の現場で役立つテーピングの理論と演習」
参加者：25名 (看護師、保健師、栄養士)

- (2) 東北地方会（担当幹事：板井一好・岩手医科大）
第5回産業衛生技術部会：平成22年7月24日（土）山形テルサ特別会議室
- (3) 関東産業衛生技術部会(担当幹事：田中茂・十文字学園女子大)
・第23回関東産業衛生技術部会研修会
平成22年9月3日（金）、会場：（社）東京労働基準協会連合会会議室
メインテーマ：活躍が期待される衛生管理者の本質的な役割と活動範囲
講演：1) 對木博一（㈱ニコンビジネスサービス）
2) 加藤隆康（㈱グッドライフデザイン）
3) 安福慎一（新日本製鐵㈱）
4) 武田繁夫（三菱化学㈱）
司会：對木博一（㈱ニコンビジネスサービス）、参加：50名
・第24回関東産業衛生技術部会研修会（兼：第251回日本産業衛生学会関東地方会例会）
平成22年12月11日(土)、会場：早稲田大学西早稲田キャンパス、担当：村田 克(早稲田大、労研)
一般演題発表およびポスター発表
- (4) 東海地方会（担当幹事：城憲秀・中部大）
・平成22年10月16日（土）に世話人会を中部大学三浦記念会館8C会議室において開催し、今年度の特別企画について検討した。
・平成23年2月26日（土）午後1時～4時、名古屋市立大学医学部 研究棟 11階講義室Aにおいて、今年度の特別企画として以下の講演会を開催。
講演1 名古屋俊士 先生（早稲田大学・理工学部）
「化学物質管理の今後の方向」
講演2 齊藤政彦 先生（大同特殊鋼星崎診療所）
「今後の労働衛生管理の方向と衛生管理者の役割」
・平成22年3月6日（土）に名城大学薬学部で、「第24回産業保健スタッフのための研修会」（東海地方会の主催で例年開催）を地方会の他の3部会とともに共催した。
- (5) 北陸甲信越地方会（担当幹事：谷井秀治・金沢大）
医部会、看護部会と共同での企画を行った。
- (6) 近畿地方会（担当幹事：河合俊夫・中災防大阪労働衛生総合センター）
平成23年2月5日に産業心理技術研究会と共同で研修会を行った。参加30名。
- (7) 中国地方会（担当幹事：田口豊郁・川崎医療福祉大）および四国地方会（担当幹事：須那滋・香川大）
第9回中国四国産業衛生技術部会合同研修会（第54回中国四国合同産業衛生学会(下関)）
日時、場所：平成22年11月27日（土）14：00～17：00、海峡メッセ下関 804会議室
テーマ：職場における発達障害者への対応・支援
1)「障害者雇用の現状と産業保健分野の役割」（田口豊郁：川崎医療福祉大学）
2)「発達障害の理解」(小林信篤：川崎医療福祉大学大学院 発達障害(TEACCH)コース担当)
3)「広汎性発達障害傾向のある労働者に関する相談事例とその対応」
（谷原弘之：(財)林精神医学研究所 岡山EAPカウンセリングルーム）
4)「親の立場そして産業保健専門家の立場から」（毛利一平：(財)労働科学研究所）
5)総合討論
参加：90名
- (8) 九州地方会（担当幹事：伊藤昭好・産業医科大）
・九州地方会産業衛生技術部会集会を開催
平成22年6月19日（土）16時～17時 ヒューマンメディア財団ビル2F セミナールーム
講師：熊谷信二先生（産業医科大学産業保健学部環境マネジメント学科）
演題：「石綿工場からの近隣曝露による住民の健康影響」
・九州地区産業衛生若手技術者交流会を共催し、新入会員のリクルートを行った。
平成23年2月4日（金）19時～。参加15名。

平成22年度特別会計収支計算書
平成22年 3月 1日から平成23年 2月28日まで

地方会・部会・委員会名 **産業衛生技術部会**

1. 収入の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
(1)会費収入	0	0	0	
正会員会費収入	0	0	0	
賛助会員会費収入	0	0	0	
特別会員会費収入	0	0	0	
(2)助成金収入	800,000	800,000	0	
日本産業衛生学会助成金収入	800,000	800,000	0	
(3)事業収入	0	0	0	
参加登録料収入	0	0	0	
広告料収入	0	0	0	
原稿料収入	0	0	0	
(4)その他収入	1,000	757	243	
受取利息	1,000	757	243	
通信費等実費徴収金	0	0	0	
当期収入合計	801,000	800,757	243	
前期繰越収支差額	729,178	729,178	0	
収入合計	1,530,178	1,529,935	243	

2. 支出の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
(1)事業費	560,000	560,000	0	
①機関誌費	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
編集費	0	0	0	
発送費	0	0	0	
②助成金支出	560,000	560,000	0	
学会開催助成金支出	0	0	0	
部会助成金支出	0	0	0	
委員会費	240,000	240,000	0	
研究会費	320,000	320,000	0	
③例会事業費	0	0	0	
会場費	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	
資料作成費	0	0	0	
通信費	0	0	0	
(2)管理費	200,000	162,104	37,896	
①運営費	90,000	82,856	7,144	
幹事会費	40,000	26,700	13,300	
広報渉外費	0	0	0	
運営雑費	50,000	56,156	-6,156	
②事務費	110,000	79,248	30,752	
事務局員費	60,000	50,000	10,000	
通信費	20,000	16,000	4,000	
消耗品費	20,000	2,982	17,018	
雑費	10,000	10,266	-266	
(3)その他支出	0	0	0	
役員改選積立金支出	0	0	0	
学会開催積立金支出	0	0	0	
(4)予備費	770,178	0	770,178	
当期支出合計	1,530,178	722,104	808,074	
当期収支差額	-729,178	78,653	-807,831	
次期繰越収支差額	0	807,831	-807,831	
支出合計	1,530,178	1,529,935	243	

(注) 日本産業衛生学会

II. 平成23年度事業計画

以下の通り、承認された。

1. 平成23・24年度産業衛生技術部会体制

部会長：名古屋俊士（早稲田大）

副部会長：加藤隆康（(株)グッドライフデザイン）

副部会長：田中 茂（十文字学園女子大）（関東地方会担当）

監事：中明賢二（麻布大）

幹事（五十音順）：

板井一好（岩手医科大）（東北地方会担当）

城 憲秀（中部大）（東海地方会担当）

伊藤昭好（産業医科大）（九州地方会担当）

田中勇武（産業医科大）

今井常彦（東邦大）

谷井秀治（金沢大）（北陸甲信越地方会担当）

大西明宏（安衛研）

田吹光司郎（西日本産業衛生会）

大道正義（千葉市社会福祉事業団）

千葉百子（国際医療福祉大）

大森義文（三菱電機）

土屋真知子（静岡県産業環境センター）

大藪貴子（産業医科大）

永野 恵（熊本保健科学大学）

落合孝則（東工大）

長見まき子（関西福祉科学大学健康福祉学部）

河合俊夫（中災防大阪）（近畿地方会）

那須民江（名古屋大）

岸田孝弥（中京大）

橋本晴男（エクソンモービル）

神山宣彦（東洋大）

原 邦夫（帝京平成大）

近藤充輔（近藤労働衛生コンサルタント事務所）

保利 一（産業医科大）

須那 滋（香川県立保健医療大）（四国地方会担当）

道辻広美（松下産業衛生科学センター）

田口豊郁（川崎医療福祉大）（中国地方会担当）

村田 克（早稲田大）

武田繁夫（三菱化学）

藪田十司（北里大）

武田秀勝（北星学園大）（北海道地方会担当）

山野優子（昭和大）

各委員会（6委員会）：

企画委員会（委員長：村田克・早稲田大）

教育研修委員会（委員長：今井常彦・東邦大）

広報委員会（委員長：大西明宏・安衛研）

企業安全衛生グループとの交流委員会（委員長：田中茂・十文字女子学園大）

表彰委員会（委員長：名古屋俊士・早稲田大）

4部会コラボレーティング委員会（委員長：落合孝則・東工大）

事務局：村田 克（早稲田大）、中村憲司（安衛研）、宮内博幸（産業保健協会）

2. 産業衛生技術部会総会の開催

平成23年5月20日（金）17時-18時 ホテルアジュール竹芝16階「曙」

3. 幹事会の開催

第1回：平成23年5月19日（木）12時-13時 シーサイドホテル芝弥生11階「さくら」

第2回：平成23年12月10日（土）（予定） 早稲田大学西早稲田キャンパス

4. 産業衛生技術フォーラムの開催

平成23年5月20日（金）15時-17時 ホテルアジュール竹芝16階「曙」

テーマ：「企業経営リスクとしての産業衛生を考える」

座長：加藤 隆康（株式会社グッドライフデザイン代表取締役社長）

中明賢二（麻布大学名誉教授）

講師：小澤 正彦（株式会社損害保険ジャパン理事、リスク管理部長）

安福 慎一（新日本製鐵株式會社人事・労政部部长／安全推進部部长）

原 邦夫（帝京平成大学地域医療学部教授）

野口 和彦（株式会社三菱総合研究所研究理事）

5. 第20回産業衛生技術部会大会の開催

平成23年12月10日(土) (予定) 内容未定 早稲田大学西早稲田キャンパス

6. 産業衛生技術専門研修会の開催

・第12回産業衛生技術専門研修会

平成23年5月19日(木) 14時45分～16時55分 シーサイドホテル芝弥生11階「ふじ」

講師：加藤隆康・グッドライフデザイン

テーマ：「企業経営リスクと産業衛生」

・第13回産業衛生技術専門研修会

平成23年12月10日(土) (予定) 内容未定 早稲田大学西早稲田キャンパス

7. 第21回産業医・産業看護全国協議会（福岡）会期中の行事

・4部会合同セミナー

平成23年11月23日(水) 12:00～11月24日(木) 12:00

西鉄イン福岡 対象職場：徳洲会病院（福岡）

・リレーワークショップ

平成23年11月25日(金) 9:30-11:45 西鉄イン福岡

テーマ「公的機関との連携」

8. 各委員会の活動

(1) 企画委員会（委員長：村田克・早大、労研）

委員会を4回程度開催

(2) 教育研修委員会（委員長：今井常彦・東邦大）

産業衛生技術専門研修会（第12回および第13回）を開催

(3) 広報委員会（委員長：大西明宏・安衛研）

部会ホームページ、メーリングリストの維持管理および部会メールマガジンの刊行

(4) 企業安全衛生グループとの交流委員会（委員長：田中茂・十文字学園女子大）

全国衛生管理者協議会等を通じて講師派遣やその広報

(5) 表彰委員会（委員長：名古屋俊士・早大）

中明賞（産業衛生技術部会奨励賞）受賞者2名を選定

(6) 4部会コラボレーティング委員会（委員長：落合孝則・東工大）

4部会合同セミナー、リレーワークショップを他部会と共同で開催

9. 各地方会の活動

(1) 北海道地方会（担当幹事：武田秀勝・北星学園大）

・平成23年3月5日に北海道地方会 第14回産業医・産業看護・産業技術3部会合同研修会を開催

・平成23年6月23日にトレーニングジムの活用に関する研修会を開催

(2) 東北地方会（担当幹事：板井一好・岩手医科大）

第6回産業衛生技術部会を開催予定

(3) 関東産業衛生技術部会(担当幹事：田中茂・十文字学園女子大)

・第25回関東産業衛生技術部会研修会の開催

平成23年5月21日(土) 9:10～13:00、慶應義塾大学病院 新棟11階大会議室

メインテーマ：インジウム・スズ酸化物取扱い作業による健康障害防止に関する最近の動向について
司会：田中茂（十文字学園女子大）

講演：1) 長野嘉介（中災防日本バイオアッセイ研究センター）

インジウム・スズ酸化物ターゲット材の研削粉の長期吸入による発がん性試験

2) 平田美由紀（九州大）

インジウム化合物の吸収・分布・代謝・排泄

3) 中野真規子（慶應義塾大）

インジウム・スズ酸化物取扱い作業による健康障害

4) 宮内博幸（産業保健協会）

インジウム・スズ酸化物のリサイクル工場における作業環境調査結果

5) 寺島友子（厚生労働省）

インジウムに係る安全衛生行政の動向

6) 大前和幸（慶應義塾大）

総括およびディスカッション

・この他、第26回および第27回の研修会を開催予定

(4) 東海地方会（担当幹事：城憲秀・中部大）

秋季に講演会を予定

(5) 北陸甲信越地方会（担当幹事：谷井秀治・金沢大）

衛生管理者のグループと研究会を立ち上げることで合意しており、研究会の名称や具体的な進め方等を検討する。

(6) 近畿地方会（担当幹事：河合俊夫・中災防大阪労働衛生総合センター）

平成23年10月22日(土)に日本と諸外国の安全衛生の比較をテーマに講演会を開催

(7) 中国地方会（担当幹事：田口豊郁・川崎医療福祉大）および四国地方会（担当幹事：須那滋・香川大）

平成23年12月10日(土)（第55回中国四国合同産業衛生学会(高知市)開催時）に、第10回中国四国産業衛生技術部会合同研修会を開催。またこれまでの活動をまとめた冊子を作成する予定。

(8) 九州地方会（担当幹事：伊藤昭好・産業医科大）

平成23年7月1日(金)に佐賀県で放射線に関する研修会を開催

平成23年度産業衛生技術部会予算書(平成23年3月1日～平成24年2月28日)

1. 収入の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	摘要
(1)会費収入	0	0	0	
正会員会費収入	0	0	0	
賛助会員会費収入	0	0	0	
特別会員会費収入	0	0	0	
(2)助成金収入	800,000	800,000	0	
日本産業衛生学会助成金収入	800,000	800,000	0	
(3)その他収入	0	0	0	
参加登録料収入	0	0	0	
広告料収入	0	0	0	
原稿料収入	0	0	0	
(4)その他収入	1,000	1,000	0	
受取利息	1,000	1,000	0	
通信費等実費徴収金	0	0	0	
当期収入合計	801,000	801,000	0	
前期繰越収支差額	807,831	729,178	78,653	
収入合計	1,608,831	1,530,178	78,653	

2. 支出の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	摘要
(1)事業費	560,000	560,000	0	
①機関誌費	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
編集費	0	0	0	
発送費	0	0	0	
②助成金支出	560,000	560,000	0	
委員会費	240,000	240,000	0	6委員会
研究会支出	320,000	320,000	0	8地方会分(中国四国は合同)
③例会事業費	0	0	0	
会場費	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	
資料作成費	0	0	0	
通信費	0	0	0	
(2)管理費	200,000	200,000	0	
①運営費	90,000	90,000	0	
幹事会費	40,000	40,000	0	
広報渉外費	0	0	0	
運営雑費	50,000	50,000	0	講師等派遣補助
②事務費	110,000	110,000	0	
事務局員費	60,000	60,000	0	
通信費	20,000	20,000	0	
消耗品費	20,000	20,000	0	
雑費	10,000	10,000	0	
(3)その他支出	0	0	0	
役員改選積立金支出	0	0	0	
学会開催積立金支出	0	0	0	
(4)予備費	848,831	770,178	78,653	
当期支出合計	1,608,831	1,530,178	78,653	
当期収支差額	-807,831	-729,178	-78,653	
次期繰越収支差額	0	0	0	
支出合計	1,608,831	1,530,178	78,653	